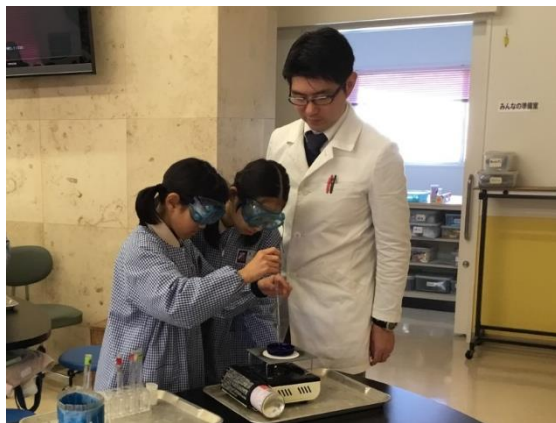


2019年11月25日（月）

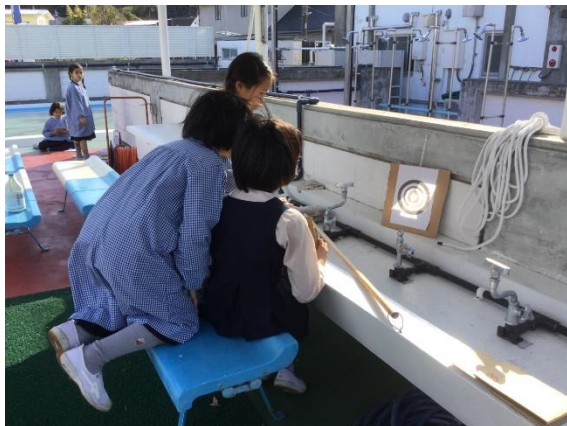
『授業の様子（理科）』

6年生は「水溶液の性質」という学習を行っています。様々な水溶液にバタフライピーという青い色のハーブティーを加えることで、変化した色の違いによって水溶液を分類することができます。子どもたちもうまく水溶液を並び替えて分類していました。



この分類により、両端の塩酸や水酸化ナトリウム水溶液は、特に酸性、アルカリ性が強いということも分かります。そこから、塩酸の酸性の強さが金属まで溶かしてしまうことを学習しました。しかし、溶かした金属を取り出すために塩酸を蒸発させてみると、溶かした金属ではないものが残ります。金属はただ溶けただけでなく、別の物質に変わったという事実子どもたちはたどり着きます。これを化学反応といい、中学校の学習につながるのです。

3年生は「太陽の光をしらべよう」という学習を行っています。太陽の光を鏡で上手に反射させて、日陰に置いた「的」をねらいます。この「的」には、温度計が入っているので、太陽の光による温度の変化を調べることができるのです。



子どもたちは、お友達と協力して鏡の枚数を増やし反射させる光を多くすることで、より温度を変化させようとします。グループの全員が鏡を動かさないようにじっと構えて、反射させた光を「的」の中心に向けることで、温度がどんどん上昇していきます。

この実験結果から、光の量（鏡の枚数）と、温度の変化の関係がわかります。